Japan Geoscience Union Meeting 2011
(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

PEM031-16 会場:103 時間:5 月 26 日 12:30-12:45

SuperDARN 北海道-陸別短波レーダーによる SAPS/SAID の時間・空間変動の研究
Study of temporal / spatial changes of SAID/SAPS structures by the SuperDARN Hokkaido radar

西谷 望 [1*], 小川 忠彦 [2], 菊池 崇 [1], 海老原 祐輔 [3], 堀 智昭 [1]
Nozomu Nishitani[1*], Tadahiko Ogawa[2], Takashi Kikuchi[1], Yusuke Ebihara[3], Tomoaki Hori[1]

[1] 名古屋大学太陽地球環境研究所, [2] 情報通信研究機構, [3] 京都大学生存圏研究所
[1]STEL, Nagoya Univ., [2]NICT, [3]RISH, Kyoto Univ.

サブオーロラ帯電離圏で観測された SAID/SAPD 構造中の様々な時間スケールの変動およびその要因について議論する。過去の研究により、SAID/SAPS 構造は IMF Bz の変動、ring current 変動、サブストームの発達の影響を受けることが指摘されているが、それらの影響の強さの量的な議論はまだほとんどなされていない。また上記変動の降下に寄らず、内部磁気圏におけるプラズマ不安定の発達等により自発的に変動するものもあると考えられている。本講演では、SuperDARN 北海道-陸別 HF レーダーの 4 年にわたるデータを解析して、SAID/SAPS 構造の変動を引き起こす外的・内的要因の切り分け、またそれらの影響の量的な見積りを試みる予定である。

キーワード: SuperDARN, 北海道-陸別 HF レーダー, SAPS/SAID, 内部磁気圏, サブオーロラ帯電離圏, プラズマ不安定
Keywords: SuperDARN, Hokkaido HF radar, SAPS/SAID, inner magnetosphere, sub-auroral ionosphere, plasma instability